

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地				
福岡ベルエポック美容専門学校		平成16年3月25日	松崎 輝生		〒812-0033 福岡県福岡市博多区大博町4-17 (電話) 092-282-9100				
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地				
学校法人 滋慶学園		昭和58年12月23日	浮舟 邦彦		〒123-1234 東京都千代田区霞が関4-1-1 (電話) 03-5253-4111				
目的	お客様(サロンに来店されるお客様・クライアント・モデル・新郎・新婦)に支持される為に必要な技術・おもてなしを身につけ、主体的に行動できるトップアシスタント・ヘアメイクアーティスト・ブライダルヘアメイクアーティストを養成する。								
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士		
衛生	衛生専門課程		美容師科		平成17年12月26日 文部科学省告示 第176号		—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技		
	2年 昼間							2250	450
2250単位時間									
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数	
240人		189人		9人		19人		28人	
学期制度	■前期:4月第2週目～9月第5週目 ■後期:10月第1週目～3月第5週目			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験、平素の学習状況、出席状況で評価				
長期休み	■学年始め:4月1日～4月第1週目 ■夏季:7月第2週目～8月第5週目 ■冬季:12月第3週目～1月第1週目 ■学年末:3月第2週目～3月31日			卒業・進級条件	学年ごとに修了すべき教科科目の授業に7割以上出席しており、試験に合格している者は科目修了の認定を受け、卒業進級判定会議にてその成果が終了認定すべきものと認められた場合、卒業または進級認定を受ける。				
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 定期的に本人および保護者に連絡をして状況の確認・把握を行い、家庭と学校で連携して対応する。対応方法は電話および来校面談。			課外活動	■課外活動の種類 美容師技術向上のため各種技能大会・コンテストへの参加。また業界と連携した企業プロジェクトに参加。 ■サークル活動: 有				
就職等の状況	■主な就職先、業界等 美容所、ヘアメイク事務所 ■就職率 <sup>※1</sup> : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 94.9% ■その他 (平成 26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)			主な資格・検定等	美容師国家資格 JESCメイクアップアーティスト検定 JESCコミュニケーションスキルアップ検定 おもてなしマスター検定				

中途退学の現状	<b>■中途退学者</b> 2名 平成26年4月1日 在学者            225名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者            204名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)	<b>■中退率</b> 0.9%
	<b>■中途退学の主な理由</b> 進路変更、目的意識の低下	
	<b>■中退防止のための取組</b> 入学前教育～導入教育のフロー教育を実践している。 スクールカウンセラーと協力体制で変調がある学生を早期に発見しケアをしている。 学費相談の専門部署を設置している。 担任研修を定期的実施しFD活動に努めている。	
ホームページ	<a href="http://www.fbe.ac.jp/">http://www.fbe.ac.jp/</a>	

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

平成26年度の教育課程編成委員会において業界ニーズを把握した上で、卒業後3年後の到達目標(養成目的)と卒業時における到達目標(教育目標)を設定し、カリキュラム編成を行っている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年 5月 1日現在

名 前	所 属
平田 豪成	学校法人 滋慶学園 常務理事
松崎 輝生	福岡ベルエポック美容専門学校 学校長
飯塚 洋一	福岡ベルエポック美容専門学校 西日本エリア長
塩原 誠	福岡ベルエポック美容専門学校 事務局長
勝原 修吾	福岡ベルエポック美容専門学校 教務部長
加藤 真也	福岡ベルエポック美容専門学校 美容師科 学科長代理
有田 まどか	福岡ベルエポック美容専門学校 美容師科 学科長補佐
三村 宗緒	福岡ベルエポック美容専門学校 美容師実践科 学科長代理
清水 俊二	ビューティビジョン協同組合 理事
小出 歩明	株式会社 ビーズ 代表取締役
橋本 健太郎	ターミナル 代表

(開催日時)

第1回 平成27年 5月28日 16:00～18:00

第2回 平成27年10月 1日 14:00～16:00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校は卒業後の業界に直結した職業人教育を行う学校であり、各業界と連携し、共にスペシャリストを育成することを目的としている。企業より現役で活躍するプロを講師とし、卒業後活躍できる人材を輩出するために講義内容を考え、指導し、達成度の評価を行う。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
プロフェッショナルへの道	プロからの講演を通して、将来像を明確にし、学習に取り組む姿勢を身に着ける。	西洋髪結/有限会社B's
就職講座 I・II	就職に必要な業界理解、自己分析、活動スキル等を学ぶ。	
現場実習	美容サロンの現場を知り、将来像を明確にする。また、アシスタントの業務と接客スキルとマインドを習得する。	

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めている。

平成26年度においては、昨年度同様中途退学防止に向けた「学生一人ひとり」に対する対応案の企画立案・実施・評価というPDCAサイクルを展開することを年間の教育活動の中心にすえ、ファカルティ・デベロップメント(以下FDCと記載)活動を推進する専任教員に対し、以下の要素が年間を通した授業内容に反映されるよう研修を行った。

① キャリア教育の視点

② シラバス改善、教育技法の改善

さらに、専任教員と兼任教員で組織する講師会議においてこの方針を共有し、シラバス内容のチェック、教育技法改善に向けた研修を行う。

また、教育技術の向上のため、業界から招聘した講師の授業を見学する「オープン授業」を実施している。

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年 5月 1日現在

名 前	所 属
松崎 輝生	福岡ベルエポック美容専門学校 学校長
飯塚 洋一	福岡ベルエポック美容専門学校 西日本エリア長
塩原 誠	福岡ベルエポック美容専門学校 事務局長
勝原 修吾	福岡ベルエポック美容専門学校 教務部長
加藤 真也	福岡ベルエポック美容専門学校 美容師科 学科長代理
有田 まどか	福岡ベルエポック美容専門学校 美容師科 学科長補佐
西田 彩	福岡ベルエポック美容専門学校 ブライダル科 学科長
金田 芙由	HAIR MAKE E'LOGE 店長(卒業生代表)
松井 裕一	(保護者代表)
田中 浩一	福岡県立福岡農業高等学校 校長(高等学校関係者)
大島 弘枝	福岡市大浜公民館 館長(地域関係者)
清水 俊二	ビューティビジョン協同組合 理事(業界関係者)
湯山 英寿	株式会社 ダリア(業界関係者)
金井 良子	(株)リクルートマーケティングパートナーズ 経営企画部 ブライダル総研 研究員(業界関係者)
足立 寛之	株式会社 サンケイプランニング 代表取締役(業界関係者)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.fbe.ac.jp>

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.fbe.ac.jp>

授業科目等の概要

(衛生専門課程 美容師科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	美容師の業務に必要な衛生行政・美容師法・その他関係法規の意義や知識について学ぶ。	1後	30	1	○			○			○	
○			衛生管理Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	美容師の業務に必要な公衆衛生・感染症・環境衛生・衛生管理技術の意義や知識について学ぶ。	1通2前	90	3	○			○		○	○	
○			美容保健Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	美容師の業務に必要な解剖学・生理学・皮膚科学分野の知識について学ぶ。	1通2通	120	4	○			○			○	
○			物理・化学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	美容師の業務に必要な物理・化学の知識を学ぶ。また美容師の業務で使用する器具や香粧品の取扱いを学ぶ。	1通2前	90	3	○			○		○		
○			ヘアメイクデザインⅠ、Ⅱ	美容の歴史を振り返り、様々な年代のヘアデザインの知識について学ぶ。また学んだヘアデザインの技術を身につける。	1通	90	3	△			○	○	○	○	
○			美容技術理論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	美容師に必要な美容の基礎技術・頭部技術・特殊技術・和装技術の知識と技術を身につける。	1通2通	120	4	○			○		○	○	
○			接客ベーシック	接客力、おもてなしの心を身に付ける。また、おもてなしマスター検定試験合格を目指す。	1前	30	1	△	○		○		○		
○			サロンワークⅠ	サロンワーク（主にシャンプー、ブロー）を通してサロン運営の知識とスキルを身につける。	1後	30	1				○	○	○		
○			ワインディングⅠA、Ⅱ、Ⅲ	国家試験課題（ワインディング）技術を習得する。	1通2前	180	6				○	○	○	○	
○			オールウェーブⅠ、Ⅱ	国家試験課題（オールウェーブ）技術を習得する。	1後2前	210	7				○	○	○	○	

○		国 試 カ ッ ト I、II	国家試験課題（カット）技術を習得する。	2 通	180	6			○	○			○	○
○		国家試験実技 （第2課題）	国家試験実技第2課題の技術を習得し合格レベルに到達する。	2 後	240	8			○	○			○	○
○		ワインディング IB	国家試験課題（ワインディング）の基礎技術を習得する。	1 前	60	2			○	○			○	○
○		コンテスト対 策	学内コンテスト（ワインディング）に向けて、技術力を高める。	1 後	30	1			○	○			○	○
○A		ベーシックカット&カラー &ブロー&スタイリング	カット、ヘアカラー、ブロー、スタイリングの基礎技術を習得する。	1 前	60	2			○	○				○
○A		シャンプー&サロンワーク	サロンワークの流れを理解しながらシャンプーの基礎技術を習得する。	1 前	60	2			○	○				○
○A		サロンカット&カラー	学内コンテスト（カット・ヘアカラー）に向けて、技術力を高める。	1 後	60	2			○	○				○
○A		デザイン・テクニカル カット&ブロー&スタイ リング	ベルエポックコンテストに向けて、カット、ブロー、スタイリング技術を高める。	2 前	60	2			○	○				○
○A		シャンプー（サイド& バック）	サイドシャンプー、バックシャンプーの技術を習得する。	2 前	60	2			○	○				○
○A		サロンワーク II	模擬サロンをチームで運営する。	2 前	60	2			○	○			○	○
○B		ヘアアレンジ 基礎	ヘアアレンジの基礎技術を習得する。	1 前	60	2			○	○				○
○B		メイクアップ 基礎技術	メイクアップの基礎を身に付ける。またJESCメイクアップアーティスト検定に合格できる知識と技術を身に付ける。	1 前	60	2	△		○	○				○
○B		スチールメイ ク撮影実習	撮影に必要な知識やヘアメイク技術を身に付ける。	1 後	60	2	△		○	○				○
○B		特殊メイク	ボディペイントやエアブラシ技術を身に付ける。	2 前	60	2			○	○				○

OB	ブライダルメイク&アーティストックヘアメイク	ベルエポックコンテストに向けてヘアメイク技術を身に付ける。	2前	60	2			○	○				○	
OB	卒業研究	模擬サロンをチームで運営する。	2前	60	2			○	○			○	○	
○	国家試験対策(実技)	国家試験実技課題の技術を習得し、合格レベルに到達する。	2後	60	2			○	○			○	○	
○	国家試験対策(筆記)	国家試験筆記科目の問題演習を行い、合格レベルに到達する。	2後	120	4	△	○		○				○	
○	プロフェッショナルへの道	職業人(プロ)を目指すにあたり、課題を明確にし、目標を明確化する。また、自己分析を行い、自分の強み(弱み)を知る。	1前	30	1	△	○		○			○		
○	就職講座Ⅰ、Ⅱ	美容業界のことを深く学ぶことで、就職活動を行う上での価値観を自己認識できるようになる。また、就職活動を行う上でのノウハウを身に付ける。	1後 2前	60	2	△	○		○			○	○	
○	導入教育Ⅰ、Ⅱ	プロからの講演を通して個々の目的意識(職業意識)を高める。また、学科行事を通して主体性・協調性を身に付ける。	1集中	60	2	△	○		○			○	○	
○	国際教育	海外アーティストから知識・技術を学ぶことで、美容に対する視野を広げ、国際的なセンス(感性)を身に付ける。	1集中	30	1	△		○	○	○	○			
○	現場実習	美容サロンの現場を知り、将来像を明確にする。また、アシスタント業務と接客スキルとマインドを習得する。	1集中	30	1			○		○	○		○	
合計				44科目		2250単位時間(							75単位)	

\*選択必修課目(美容総合技術)についてはAもしくはBのいずれかを選択する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
(学則より抜粋) 第22条 第2項 学校長は卒業・修了の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業進級判定会議を開催し、審査の上判定する。この場合、所定の教科目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業または進級認定をしなければならない。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。